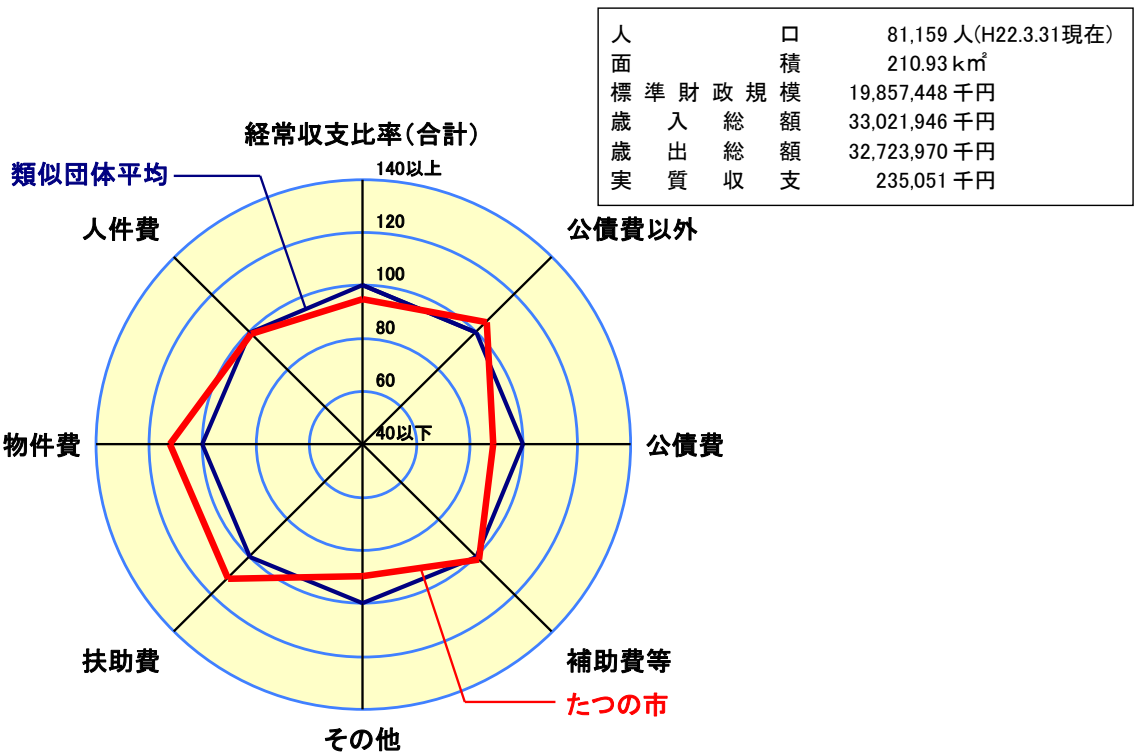
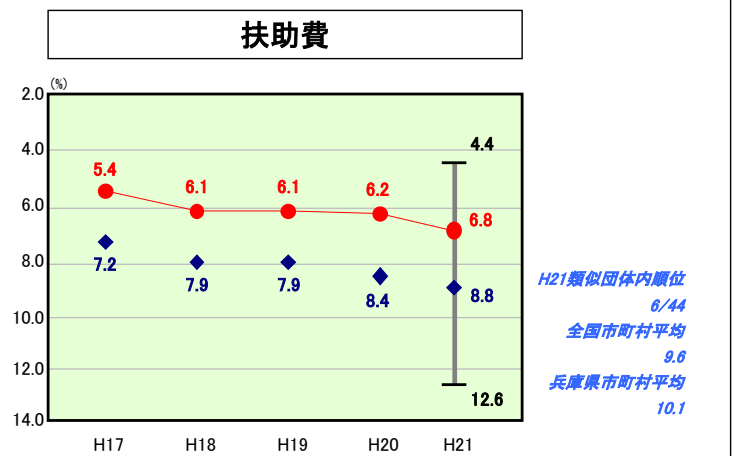
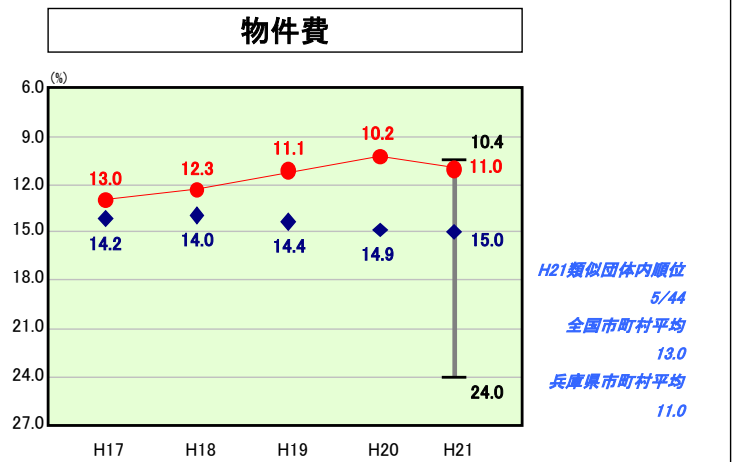
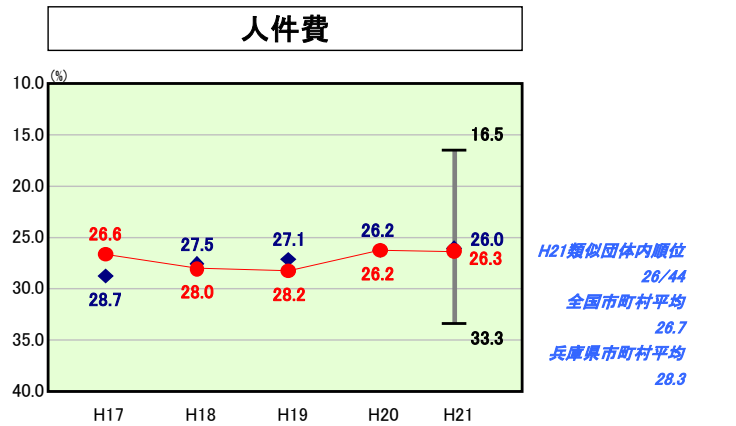
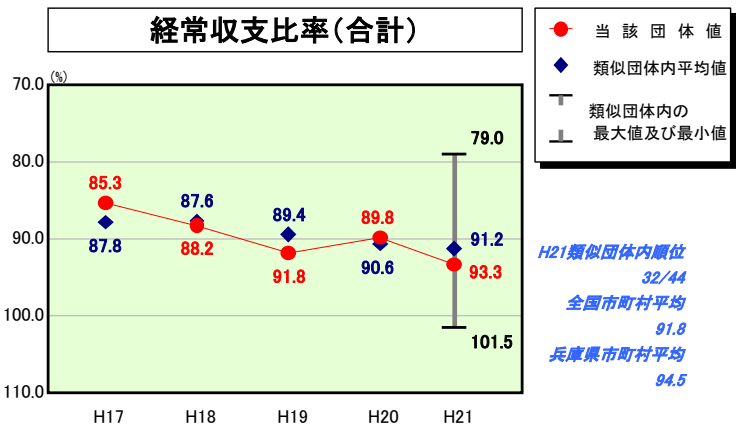


歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

兵庫県 たつの市

経常収支比率の分析



- ※ 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 経常収支比率
行財政改革の推進により人件費等の削減効果はあったものの、起債の満期一括償還を行ったため公債費が増加し、類似団体平均値を2.1%上回った。
経常収支比率を90%以下に抑制するため、繰出金の抑制、補助金の統廃合、人件費の削減などに引き続き取り組むとともに、市税の徴収率向上や各種使用料見直しといった歳入確保に努めていく。
- 人件費
ラスパイレス指数は類似団体平均に比べ0.2ポイント低いものの、依然として人口千人当たり職員数が類似団体平均値に比べ1.24人多いため、経常収支比率としては0.3ポイント上回っている。
今後、引き続き職員定員適正化計画に基づき、定数の削減を行うとともに施設の指定管理者制度を活用を図りながら総人件費の抑制に努めていく。
- 公債費
合併前の旧市町で実施した事業に係る起債償還が年々増加傾向にあり、また、本年度は満期一括償還を行ったため、類似団体平均値に比べ4.9ポイントと大きく上回った。平成23年度以降は満期一括償還がなくなるため比率の悪化は改善されるものの特別会計や一部事務組合への資本費繰出も増加傾向にあり、実質公債費比率についても上昇する見込みであるため、新発債の抑制、合併特例債等の有利な起債の活用、既発債のより低利への借換えなどにより、起債許可基準である18%を超えないよう努めていく。
- その他(繰出金)
下水道事業(皮革汚水・集落排水を含む)に多額の繰出しをしており、平成23年度までは公債費等の増加に伴い繰出額も増加するものの、平成24年度以降は減少する見込みである。また、一部事務組合に対する繰出しについては、平成22年度をピークに減少することから、繰出金全体としては、減少傾向である。
今後特に下水道事業について資本費の適正な管理に努めるとともに、一層の維持管理費の削減や不明水対策による有収率向上、使用料改定の着実な実施などにより繰出金の削減に取り組んでいく。

